



二 16  
2288  
2

柳川重修畫

昭和十三年  
五月二十三日

改訂 海外諸島圖說 集

東起 弘道軒藏

序

昔人有萬國人物圖說之著矣  
距今百有餘年形容言語豈得  
不有變革乎是以友人關蘭高  
酌古按今取切於其事實者授  
筆彌月而漸脫其稿遂命剞劂  
氏公之世焉然後四十二國人

物之風俗粲然可觀其功亦偉  
 哉所謂青出於藍青於藍也  
 嘉永壬寅冬十一月

蠖屈陳人撰



愛多散人書



本堂藏  
 松阪

繁榮

一名ハシタコトトシトリノ其島ノ門答剌ホの地高ニ近キ



大あ〜び〜ら〜も物産  
 極く富で殊又  
 多く肉莖  
 甚を産する  
 名あり  
 今和蘭の  
 人との島と併せ  
 有つ  
 三つの

城と築けり

亞費利加

ついでに  
西洋の  
萬國人物  
圖曰

亞費  
利加  
利未亞

の内より大國あり  
四季のちりも暖國  
よて一年の間

寒氣少く米粟肥饒あり  
尤七八十年來開けたり



爲國亞ハ亞弗利加西方の大國として

其西南海より  
北ハ支亞法臘ニキリ  
ミテ米粟綿

花甘麗黄  
銀象牙乳  
雀毛  
土ハ其色黒く唯靈藥

今和蘭諸尼利亞  
弟那瑪尔  
加の人の

併に有る者數ヶ所  
城郭と築けり





魯西亞



比里太尼亞 是貌利太尼亞の誤りて古の國の名あり其地亞  
 弗利加州 嚴乃今の馬暹可弗沙末の  
 地あり此地をバルバ利亞  
 中海と隔つ其  
 馬暹可勢甚  
 盛なり弗沙及  
 手鄒像皮カ土  
 熱利土の海國  
 も多し  
 臣服  
 地多  
 銅及巴旦杏  
 蜜嘴駱駝を産  
 する國也初ハ弗沙の地  
 といふ也

111

魯西亞の古の堅昆國ありとりのムスコニアの旧都あり  
 その地歐羅巴洲の東境よりそく地方廣大あり我永  
 正十一年より帝爵の國とありその後寛文十二年より  
 かくその帝コトルコラト生此帝才徳世々絶一國入又教  
 とり一文學諸藝と習りて悉く日深の汚俗と革り國  
 と富一兵と強く一西の波羅泥亞と服一雪際亞の地  
 とらをい南の度尔格と破り小鞞韃と降一東の大鞞韃  
 と併せて沙漠より北の方北海を傍ら蝦夷の東北カムシカト  
 の地より遠く星の洲郡とあり守と置くと是と治りむ  
 故に天下第一の帝國とありて此の廣大他邦の並所及とらふ

字漏生國

の一名公多難ヤとコシキスグイとのみ兵多母多一と

各種の獸畜と産と昔一種の自之の國

王ありくぐハラの魚可

西亞國ニッ

併せられ

郡と

あり

恒と恒

一般の皮革と負

あり



大泥亞



大泥亞一名弟那福亦加と云是あり上古の世は聖人孫  
 尾孫「タ」エフしある者をもめてけ地はまきたるの國と  
 國々とをその地の歐羅巴の北海に際し保糸勿入亞弟那  
 多加定系業王外兒狼德也徳國とあるの別都たり且  
 亞細亞亞非利かの地にも亦その屬國たりて國勢甚ど  
 盛んありて國々の都を「ヨ」ニアケとてよき名譽繁るの  
 地あり土人へて賢帝強ありて徳邦と名たりて又姓  
 甚だ善良好て格物多程の學を修むるよし

波羅泥亞



波羅泥亞國別名「ホルスカ」  
 地入多為尼西のあなありて大國あり  
 とらてとも生子他穀法畜蜜蠟琥珀等と多し  
 土人性善良温和して純法藝多通じ其の國の産  
 産多し其子孫世々も其もく其海ありそのを  
 修を解むるも其の法とカラコウレといふ  
 のく河海を臨み近世くく莫斯哥未亞國の  
 故金を其の國に





翁加里亞



翁加里亞州別名「ウラズ」古名「ハンニ」といふ地歐羅  
 巴の東邊にありて大國ありカネカシキ地あり  
 斯刺勿泥並の地と云ふ物産を饒くしと云ふ  
 銀銅鐵石穀物菓蒲萄酒出する地と云ふ  
 國の東にハルツの地あり西に  
 甚盛ありてハルツの地あり

齊尔瑪尼亞



齊爾瑪尼亞古名並物馬尼亞といふは人々の自給する  
ヨウツセラドといふは物産の人のヨウツセラドといふ是上古の世ヨウツ  
一名ヨウツラトといふ人々の地は甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南  
北とありありは地甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南  
拂郎黎黎と名ありて地甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南  
の地は甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南  
愛と名ありて地甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南  
べつと名ありて地甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南  
新と名ありて地甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南  
ヨウツセラドといふは物産の人のヨウツセラドといふ是上古の世ヨウツ  
一名ヨウツラトといふ人々の地は甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南  
北とありありは地甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南  
拂郎黎黎と名ありて地甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南  
の地は甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南  
愛と名ありて地甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南  
べつと名ありて地甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南  
新と名ありて地甚だ大なりて水産も豊富なりて他は南

拂郎察



拂郎察國一名「ガリア」古名「ガリア」といふその地北と  
 子に及海より南の一面の地中海より西の  
 比勒搦何山とて伊斯坦尼亞と界をわたり西  
 大津に臨み東を地中海に接する其の地  
 と接する大津あり國內分て十二道とて其の國都と  
 把理斯といふ是處華の地あり氣候融和土地  
 豊饒にして多くは穀粟葡萄酒の利は油は菓  
 物多し其の地は土人の勇猛にして又純文を  
 其の強兵ありとて其國よりなり

阿蘭陀



阿蘭陀國西語「オランダ」其地の總名と「ネデルラント」といふ中  
 小十七州と分つこゝ中州と「ケイプネーデルラント」といふ多く入系  
 瑪尼亞の帝に屬し又或ハ拂郎察國に屬せり其地は  
 七州の「フリーステット」といふ是ハ自立の主たり其地は  
 むろと系陀の「フリーステット」の一列とて此は「フリーステット」の初地と  
 して且其國の都城「ハーガ」此列中より故に又以て總國の  
 号も用ゆ此地都て寒多く暑少しと雖も土地肥沃にて  
 能く産物と産し人人性機巧靈慧なり其地は海邊にあり  
 航海交易して四大列中に至らざるは此れを以て民物豊饒  
 兵馬強盛なり「スペイン」の區の大國と並べ称せらる

諸尼利亞



諸尼利亞國の呼ぶヨニゲは、  
 一の大島を總名にヨコロリをテと分て二國と云南、  
 橋屋利垂とて中よ八道に分り五十二別を流ぶ北よある者と  
 思ふ齊並と云中に南北の部を分て三十五州を統ぶ又西の方  
 海を隔ててて茶木と云る大島アリアングリヤ入悉く併て  
 一と云る此國氣候多し地肥沃とて穀穀麥酒  
 五金駿馬石炭おと産は土人の性勇猛とて文學化藝  
 の通下ましく航海して多し穀の長をり國は多し都と  
 コロニと云テエムとての大河の側は在るその名は羅密  
 饒あるとて地國の名なり

新伊把泥亞國之南亞墨利加洲の南に古名墨是可國  
 あり所は都は地頗大あり伊把泥亞  
 此地併せ城邑甚多又号甚多  
 是と以て多く海船を生かす



撒兒木 赫勿羹亞國  
 本名「サレモ」  
 赤「サモ」  
 とも略  
 稱と五  
 の  
 北方  
 ありる  
 地あり



伯刺西爾



伯刺西爾國此地本名... 唐土... 氣候温暖土地... 一... 惟... 守... 邦...



阿勒戀



阿勒戀の南亞墨利加の内より明人誤りて國名を以  
 本河の名あり此河本名亞馬作搦一名阿勒利亞那と云  
 あり國の地と長く廻りて界とあり土地廣大にして人  
 物風俗一あり凡五十餘種あり故に其人性善し  
 和愛親睦ありて其地甚曠ししてその俗野鄙  
 なるものあり大抵今は多し其も尚多し其部  
 ともれ其の地熱帯に属する國に孔雀燻熟する  
 物他國の勝る綿帛猩々緋糸と漆の小虫多し

加拿太



加拿太一名加納連といふ予明の時の利艾氏の萬國  
 圖と圖とて此の國名あり是金く加納連の  
 誤りあり一加納連の北並墨利加東意の大國  
 別名新拂郎察といふ是拂郎察國の入りて此  
 地と圖ひて是と有つ故に此名あり地氣倍甚た  
 寒く風俗賤陋あり然ども此後鞍の皮革と夥  
 拂郎察の本國と輸して此物と交易に



長人國

小人 按てらるに 鞋靴の北海邊  
 國のり用モエテニといひ  
 「エニカ」海よるる國内山林多  
 土人の形軀短小して性質野鄙  
 乾美及び食を以て糧食を究つ  
 之を莫斯哥未垂國とて是と居め  
 くの土人の教化せむとて  
 其の北にツアガ止るとる海  
 峽を備へて國のり新増  
 白蠟といふその人の軀をふと  
 短少しして居る所の海邊亦  
 是より海鳥の羽を以て海獸  
 の皮革を以て衣とて一曰  
 之を以て神とあはてて是を祈  
 念するといふ



長人ヲ南亞墨利加之南界に在りてありと總稱す  
テララマ  
テララマ 種類ありて人々多し  
テララマ 義と云ふは歐羅巴の人と異なり地を開き州縣を置きて  
テララマ 治めりて人々を食せりて其の地を根と名づけり人  
テララマ 身も長く形最異あり風俗も異なり野鄙ありと云ふ

長人

坤輿外記

南懐仁

長人國々々智加國と名づく地とありて冷あり人の長一丈  
 許遍射すを毛有りて多し持ち長六尺毎一矢と雖捕入中  
 野と名づくはありて男を多し男女五色と云ふ  
 師とありと云ふ

加本  
 州白

嘉慶甲寅初秋官許

弘道軒藏



